

ぱびるす

聖学院大学総合図書館報

第68号(2019年春)

祝卒業・
新入生歓迎号



本文中に「図書館」は何回出現？

塩崎 亮



おそらく、わたしの「図書館デビュー」は学生の皆さんより遅い。生まれ育った地元で市立図書館はなかった。近くに公民館の図書室はあったかもしれないが、利用していない。学校図書館の記憶もおぼろげだ。小学生の頃、北杜夫の『船乗りクプクプの冒険』を図書室内で「発見」した気はするものの、中学・高校ともなると何も思い出せない（法的に設置義務がある以上、存在したはずだが）。

大学に入ってから（注：今から約20年前）も図書館との距離は遠かった。キャンパス内にある学生寮で暮らしていたのだが。「本」嫌いだったわけではない。むしろ、「読書」していた方だろう。授業には出ず、近所の古本屋で「本」を漁り読み（といっても、松本清張などの推理小説ばかり…）、バイトで学生以外の人たちと出会うことこそが（専攻の）社会学だ、などといきがっていた（のちに後悔するので、ちゃんと授業に出よう）。少なくとも当時の自分にとって、図書館は近寄りたいたテモノにすぎず、調べる楽しさをまだ体感できていなかった。

デビューは大学生活も終盤、「卒論」が契機となる。色々なふとしたこと（内緒）が積み重なり、かつて故郷にも存在した「CIE 図書館」をテーマに取り組んだ。連合国軍占領下に民間情報教育局（CIE）が設置した、今日の公共図書館につながるものである。この時はじめて「本」以外の「史料」に触れざるをえなくなった。必然的に各種図書館へ足が向く。元職員の方からも話を聞いて回った。「先行研究」を押さえるため、データベースを駆使し、論文や報告書、当時の新聞記事を大学（他大含む）、公共、はては専門図書館でコピーした。

国会議事堂の横にある国立図書館（その後就職先となる）では、マイクロ資料と格闘したのを思い出す。過去の文献と向きあい、自分が何かを生みだしている実感・興奮のようなものがそこにはあった（錯覚にせよ）。他人が書いた「本」をただ漫然と消費するのとは異なる。

その後の人生は、図書館一色かもしれない。図書館情報学なる学問領域（司書課程の科目とはまた違う）があることを知り、大学院へ進んだ。そして、図書館で10数年働くこととなる。主な仕事は、図書館がもつ様々な資料をウェブ上で誰もが利用できるようにすることだった。一方、ウェブ上の情報は、日々生まれては消えていく。日常生活上にとどまらず、研究において参照・引用されているにも関わらず。大学教員に身を転じた今は、このデジタル情報の長期的なアクセス保証の問題などに取り組んでいる。図書館を活用させていただき、調べものの日々だ。図書館から「引退」するのは、まだまだ先のことだろう。

（基礎総合教育部 准教授）



『On the Camino』

Jason 著 Fantagraphics Books, 2017

面白い本は、自分で「発見」してこそ愛着が湧く。日本で知られていない、好きなグラフィックノベル（英語版）を紹介してみる。作者は仏在住のノルウェー人。米国議会図書館には所蔵がない。100年後も読める保証は？



「聖学院大学図書館 での思い出」

115J034 柴田 武



聖学院大学では教職課程と司書課程の履修、サークル活動、学生会活動など学内の組織運営等、幅広く今までやったことのないことに挑戦し続ける4年間を過ごしてきました。そんな私にとって、聖学院大学総合図書館もまた、挑戦の場でした。

図書館で私が挑戦したことは主に2つあります。1つはLA（ライブラリー・アシスタント）の仕事、もう一つは図書館サポーター「セラエノ」としての活動です。LAの仕事はアルバイトとしてのもので、今までアルバイトをしたことがない私にとっては色々な意味で未知のものでした。1～2年生の間は戸惑うことも多かったのですが、4年生まで続けてきたので対処できることが増え、自分でも驚くほどできることが増えました。特にPCトラブルが起きた際、自分のみで問題を解決できた時は成長を実感しました。

図書館サポーター「セラエノ」は聖学院大学総合図書館のボランティア団体で、私が1年生の時に設立された比較的新しい団体です。こちらでは、学内のことのみならず、「全国大学ビブリオバトル予選会」や「図書館と県民のつどい埼玉」、「図書館総合展」など図書館関連の大型イベントへの参加や手伝いといったここでしかできないようなことも4年間の中で経験しました。特に記憶に残っているのは帝京大学主催の4大学交流会で、私は聖学院大学の代表として他大学の代表と連絡を取り合いながら、交流会開催への準備を進めたことです。各大学の参加メンバーの日程合わせや、交流会での議題づくりなど考えることや気を付けなくてはならないことで悩んだ時間も多かったのですが、無事に交流会を成功させることができたのはひとえに多くの人の協力あってのことでした。

図書館の思い出に共通して言えるのは「とにかく一度やってみよう」と考えるところから始まったということです。この考え方があったからこそ、多くの思い出ができたのだと思います。

（日本文化学科4年）

「充実した時を 過ごせる場所」

118J025 大山 美来



私が高校生のころ、よく居た場所は図書館でした。休み時間に友達と一緒に勉強したり、読書をしたりすることが好きだったからです。だからこの大学に入学してからも自然と図書館で過ごすことが多かったです。春学期の最初のころは一人でパソコンを借りてレポート作成や、課題に取り組みました。そして大学生活に慣れてくると、友達と一緒に図書館で過ごすことが多くなりました。友達と過ごすといっても一人で過ごしていたころとあまり変わりません。けれど、課題についてアドバイスをしたりされたりで、一人で過ごしていたころよりも、とても充実した時間を過ごせる場所になりました。勉強する時間が増えたことや友達と過ごす時間が増えたことは図書館があったからこそ、生まれた時間だと思います。私にとって今となってはなくてはならない場所になっています。そんな素敵な場所で司書を目指していることもあり、秋学期からLA（ライブラリー・アシスタント）を始めました。LAのお仕事は学生さんや職員さんとの交流が思った以上にあり、勉強になることや励まされることがありました。よく使用される学生さんに「お疲れさまです。」と声をかけてもらえたり、職員の方に寒いからコートを着てと気遣っていただけたことがありました。このようなことがあったからこそ、もっと頑張ろうと思えました。他には友達が私のお仕事が終わるまで、勉強して待っていてくれることが嬉しかったです。また書架整理や新刊雑誌の入れ替えなど、司書を志望する上でとても良い経験になっていることや本との出会いが増えたことも私にとってプラスになっています。

LAのお仕事を始めてみて図書館にいる時間が春学期よりも増えましたが、充実した日々を過ごせていると思います。改めて今までを振り返ってみても毎日が思い出のようです。さらに良い思い出が増えるようにこれからも図書館で過ごしていきたいです。

（日本文化学科1年）

2018年度 聖学院大学総合図書館 貸出ベスト5

1. 『日本妖怪考：
百鬼夜行から水木しげるまで』
マイケル・ディラン・フォスター著
森話社 2017年
2. 『ロマドカとニーバーの歴史神学：
その社会倫理的意義』
西谷幸介著 ヨルダン社1996年
3. 『H.A. サイモン研究：
認知科学的意思決定論の構築』
高巖著 文眞堂 1995年
4. 『かがみの孤城』
辻村深月著 ポプラ社 2017年
4. 『もこもこもこ』 たにかわしゅんたろう作；
もとながさだまさ絵 文研出版 1995年
4. 『りかさん』
梨木香歩著 新潮社 2003年
4. 『現代の言語学』
石黒昭博著 金星堂 1996年
4. 『絶望の国の幸福な若者たち』
古市憲寿著 講談社 2011年
5. 『「法の支配」とは何か：行政法入門』
大浜啓吉著 岩波書店 2016年
5. 『はじめて出会う平和学：
未来はここからはじまる』 児玉克哉,
佐藤安信, 中西久枝著 有斐閣 2004年
5. 『はらぺこあおむし』エリック＝カールさく；
もりひさしやく 偕成社 1989年
5. 『もったいないばあさん』
真珠まりこ作・絵 講談社 2004年
5. 『オイラーの贈物：
人類の至宝 $e[i\pi] = -1$ を学ぶ』
吉田武著 東海大学出版会 2010年
5. 『コーヒーが冷めないうちに』
川口俊和著 サンマーク出版 2015年
5. 『パンダ銭湯』
tupera tupera さく 絵本館 2013年

今年度利用が多かった本は上記のような結果となった。2018年の本屋大賞受賞作をはじめとする話題作、また、とても大学図書館らしいタイトルが並んだかと思うと可愛らしい絵本のタイトルも目立っている。あたなの借りた本は、ランクインしただろうか？

2018年度 図書館の動き

●学生選書&バックヤードツアー

丸善桶川店にて学生選書を実施、同書店と桶川市立駅西口図書館のバックヤードツアーも体験した。

●キャンパスライフフォトコンテスト開催

大学構内の風景や学生の活動等を撮るキャンパスライフフォトコンテストを実施した。

●貸出上限冊数変更

学生からの要望により、学部生の貸出冊数を通常7冊から10冊、長期休暇貸出・論文貸出等、貸出上限数を20冊とした。

●高校生向け土曜日図書館開放（10月より）

土曜日も高校生への図書館開放を始めた。

●聖学院大学公開イベント実施

OKEGAWA hon プラス+で、9月にビブリオカフェ&ビブリオバトル、2月に欧米文化学科の畠山宗明先生による「グローバル時代の映画—多様化する映像文化—」の講演が開催された。

●聖学院大学30周年記念展示

開学時の貴重な資料をはじめとし、学生要覧、卒業アルバムなど昔懐かしい資料を1階展示ケースにて展示した。

●推薦図書コーナーの拡充

2階閲覧室に留学生向けの日本語学習用図書を集めたコーナーと児童学科・心理福祉学科の推薦図書コーナーを新設した。

●「学術と音楽の集い」 聖学院大学創立30周年記念

聖学院大学創立30周年を記念し、第一部を学術の集い「多極化する社会とキリスト今日の可能性」と題した講演会、第二部を音楽の集いコロスタシアアネックスによる「祈りのうた～時を超え、国境を越え、いま私達とともにある音楽～」の演奏会が開催された。

2018年図書館の統計

(2019年1月31日現在)

I 図書館の推移

	学生数	蔵書数	年間受入冊数	開館日数	貸出冊数	資料費
	人	冊	冊	日	千冊	千円
2018	1,780	309,059	3,791	275	7.6	26,583
2017	1,725	306,655	3,483	274	8.6	26,666
2016	1,846	306,694	3,304	280	9.9	26,285
2015	2,098	304,757	3,943	283	11.5	26,718
2014	2,161	300,897	3,053	281	13.3	27,788
2013	2,419	299,396	3,343	282	14.2	27,216
2012	2,513	296,694	4,261	283	15.8	27,654
2011	2,677	293,148	4,930	275	16	30,849
2010	2,768	288,629	5,116	288	16	30,465
2009	2,724	283,610	5,042	281	16.9	30,497
2008	2,827	277,506	6,570	280	17.6	30,583
2005	2,968	254,921	6,878	232	18.4	29,700
2000	2,549	219,368	6,769	274	18	35,805
1995	2,137	163,506	13,438	271	21.5	39,700
1990	1,769	96,752	8,195	280	11.8	22,650
1985	1,005	51,000	5,043	284	10.1	12,399
1980	877	36,000	2,599	236	6.8	7,588
1975	763	22,000	4,265	183	3.5	3,754
1968	256	10,000	2,838	[247]	[1.4]	[1380]
1967	125	7,000		[247]	[1.4]	[1380]

規程の変更に伴い、1999年以降は消耗品図書も含めた冊数とした。

II 蔵書冊数

	和書	洋書	合計
総記	11,737	1,458	13,195
哲学・宗教	22,560	16,219	38,779
歴史・地理	19,988	3,386	23,374
社会科学(含教育学・福祉)	85,666	18,824	104,490
自然科学(含医学)	13,447	1,216	14,663
工学(含家事)	7,280	484	7,764
産業	5,742	471	6,213
芸術(含楽譜)	11,361	969	12,330
語学	11,341	2,985	14,326
文学	43,848	14,316	58,164
その他	10,319	5,442	15,761
合計	243,289	65,770	309,059

III その他の蔵書資料数

和雑誌(紀要・寄贈含)	385	カセットテープ	679
洋雑誌(寄贈含)	81	ビデオ・LD・DVD	3,220
スライド	34	CD	1,374
マイクロ資料	18,814	CD-ROM	881

IV 館外貸出冊数(図書・製本雑誌)：分類別

(2018年4月1日～2019年1月31日) 学生・院生・履修生のみに

	和書	洋書	合計
総記	256	0	256
哲学・宗教	919	3	922
歴史・地理	504	0	504
社会科学(含教育学・福祉)	1,962	9	1,971
自然科学(含医学)	294	1	295
工学(含家事)	123	0	123
産業	94	0	94
芸術(含楽譜)	299	8	307
語学	717	13	730
文学	1,577	3	1,580
その他	791	0	791
合計	7,536	37	7,573

V 館外貸出冊数：学科・学年別

(2018年4月1日～2019年1月31日)

所属・学年	図書(製本含む)	未製本雑誌	CD
政治政策	2年 10	6	0
	1年 0	69	0
アメ・ヨ文化	後3年 69	0	0
	後2年 11	0	0
	後1年 8	0	0
	2年 97	0	2
	1年 0	0	0
人間福祉	2年 0	0	0
	1年 9	3	0
科目等	16	0	0
大学院生小計	220	78	2
政治経済	4年 154	0	5
	3年 408	0	12
	2年 262	9	27
	1年 438	1	14
コミュニティ政策	4年 0	0	0
欧米文化	4年 344	0	17
	3年 297	0	14
	2年 150	0	3
	1年 315	4	1
日本文化	4年 276	2	6
	3年 531	27	9
	2年 381	3	1
	1年 801	0	28
児童	4年 296	3	0
	3年 483	8	3
	2年 290	0	1
	1年 493	3	1
こども心理	4年 191	0	0
	3年 67	0	0
	2年 243	0	1
心理福祉	1年 302	14	0
人間福祉	4年 232	0	2
	3年 66	0	0
	2年 188	0	0
科目等	145	0	3
学部生小計	7,353	152	148
院生・学生合計	7,573	230	150

VI その他(他館との協力等)

(2018年4月1日～2019年1月31日)

資料借用	75 (内、学生・院生 11)	複写依頼	103 (内、学生・院生 33)
資料貸出	55	複写受付	266
紹介状発行	1 (内、院生 0)	視聴覚コーナー利用	587
		館内ノートPC貸出	2,007
紹介状受付	4	館内iPad貸出	40
文献検索	23	マイクロ利用	2

発行・編集 聖学院大学総合図書館
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号
電話 048-725-5461 FAX 048-780-1096
E-mail: lib@seigakuin-univ.ac.jp
URL: http://lib.seigakuin-univ.ac.jp/